

空から森を観る

研究ディレクター 平田 泰雅

大空を舞う鳥のように自由に空を飛べたなら、眼下にはどのような景色が広がるのでしょうか。残念ながら私たちに鳥のような翼はありませんが、技術の進歩とともに、さまざまな眼で空から地上の様子を観ることができるようになりました。私たちは、お茶の間に居ながらにして、世界中のいろいろな場所で大きな出来事が起こるたびに、当たり前前に衛星画像や空中撮影の画像・映像を目にしています。

花が咲き若葉が萌える新緑の季節や、赤や黄色に染まる紅葉の季節に樹木で覆われた山々を眺めるのは風情があるものです。しかし、このように外から山を眺めるとき、私たちは山を一つの方角からしか見ることができません。また、ひとつ山を覆う森に足を踏み入れると、そこに育つ樹木の一本一本の幹や枝、葉が邪魔をして、森の奥まで見通すことができません。

森の働きを知るためには、森を詳しく観察する必要があります。それと同時に森がどのように広がっているのかを知ること也很重要です。今回の特集では、空から、そして宇宙から森を観る技術をご紹介します。鳥になったつもりで、あるいは宇宙飛行士になって宇宙から地球を眺めているつもりで、身近な森や世界の森林の様子を眺めてみましょう。



ヘリコプターから撮影したアマゾンにおける森林開発の様子（ブラジル・ロンドニア州）